

- 1 だいてもくは、一ぎようめに、学年・学校・組・名まえは三ぎようめに書き、文しうは三ぎようめの二ばんめのマスから書きましよう。
- 2 だんらくのはじめは、一字さけて書きはじめ、だんらくしうにぎようをかえましよう。
- 3 詩や文は、どのぎようも三ばんめのマスから書き、あたまをそゑましよう。

(月 日 曜日)

素晴らしい自然

永田小学校 五年 林 春日

ぼくは、その日白谷雲水きようから繚文杉まで登った。すぐく楽しみだた。ただけど朝の四時から登ってすぐいきついし、ねむいし。本当は少しいやだた。ぼくは色々な山に登ったけどこんな朝から登ったのは初めてだ。た。サルはいるのかなと思ひながら少しいくとすぐ神秘的な光景が目に広がってきた。葉から水がしたたり、たくさんの木々たちが日の光をかくすかのように立っていた。ねむいとかサルのこととかを忘れた。だ。ぼくはとその景色をながめて立っていた。また登り初めると岩から木がはえるとかさけにおおわれた。岩とか切りかぶから木がはえとか他にない不思議な光景が広がっていた。

きよろきよろしていと石につまずいた。そこには虹色の変な虫がいた。その虫はハンミョウというそうだ。こんなすごい虫は初めて見た。もう少し行くときぐり杉や、トロッ

- 4 と、とは、それぞれ一字にかぞえて、一マスの中に書きましよう。
- 5 おはなしたところは、「」の中に入れてぎようをかえて、おはなだけを書きましよう。

(不許複製)



- 1 だいいくは、一ぎようめに、学年・学校・組・名まえは二ぎようめに書き、文しよは三ぎようめの二ばんめのマスから書きましよう。
- 2 だんらくのはじめは、一字さけて書きはじめ、だんらくしよにぎようをかえましよう。
- 3 詩や文は、どのぎようも三ばんめのマスから書き、あたまをそろえましよう。

（ ）月 日 曜日

コ道があった。川の流れる音、色々な虫や鳥
 たちの声が聞こえてくる
 お父さんは一回来たことがあってその時に
 比べると整びがされていて安全だったと言っ
 ていた。
 そしてとうとう大王杉が見えた。あと少し
 で縄文杉だ。ここまで行くのもう何時間も
 立っているのにそんなことすら感じられなか
 った。すごく時間が流れるのが早く感じた。
 そしてとうとうウッドデッキが見え初めた。
 ぼくは走った。そこには明らかに今までとは
 ちがうオーラを感じられた。そこには大きな
 大きな縄文杉が立っていた。2800 5720年も生き
 ているそうだ。色々な大きい木とかも見て来
 たけど一番大きいしなによりも年れいがすご
 かった。今までの7200年間に何があったのかど
 んなことがあったのか縄文杉は全部しってい
 る。そして未来にも生き続けてほしい。
 そしておべん当を食べた。三日間食事をし
 ていない時に食べたごはんのようにおいしか

- 4 、と。は、それぞれ一字にかぞえて、一マスの中に書きましよう。
- 5 おはなしたところは、「」の中に入れてぎようをかえて、おはなだけを書きましよう。

(林許複製)



